

Enjoy! Wakayama city

7班

歴史の宝庫紀三井寺

紀三井寺は、今からおよそ1250年昔、中国(唐)のお坊さんで、為光上人という方によって開かれたお寺です。御本尊は十一面観音様とあって私たちをお守りくださる優しい仏さまです。西国33所の第二番の札所になっており、年中お参りの人が絶えないそうです。また、春は早咲きの桜が名所です。正面石段の数は231段あるそうです。仏殿という建物の中には木で造られ、立ち上がった仏像の中では日本で一番大きな『観音様』もまつられています。

紀三井寺には、本堂・桜門・鐘桜・多宝塔があります。本堂は、江戸時代・宝暦9年に建立されました。桜門は、室町時代・永正6年に建立されました。建立以来たびたびの修理を受け、桃山時代の様式を残しています。欄間には、牡丹とその蓮の彫刻が鮮やかです。そして、鐘桜は安土桃山時代・天正16年に建立されました。多宝塔は、室町時代・文安6年に建立されました。紀三井寺には、古くからある建物がたくさんありますね！

不老橋は良い所

不老橋は、平成7年5月10日に指定されました。片男波松原にあった東照宮御旅所の移築に際して、徳川治宝の命により1851年に完成したアーチ型石橋は、九州地方以外では大変珍しく、特に勾欄部分の雲を文様化したレリーフが優れています。



感想

本当に紀三井寺と不老橋は良い所でした。紀三井寺はとても歴史を感じました。和歌山市に住んで居るけど、違う所へ旅行に行ったぐらい新しい発見ができました。